

東京外かく環状道路第26回東京外環トンネル施工等検討委員会の開催結果及び東名
JCTランプシールドトンネル工事に関するオープンハウス等の開催について

第26回東京外環トンネル施工等検討委員会が開催され、東名JCTランプシールドトンネル工事における「再発防止対策及び地域の安全・安心を高める取り組み」について確認された。

これを踏まえ、「今後の掘進」などに関するオープンハウス等を開催することが公表されたので、委員会の結果概要と併せて報告する。

記

1 第26回 東京外環トンネル施工等検討委員会

(1) 日時

12月1日(木) 13時00分～15時00分

(2) 議題

再発防止対策及び地域の安全・安心を高める取り組み等

(3) 議事概要

別紙1のとおり

2 東名JCTランプシールドトンネル工事の「今後の掘進」などに関するオープンハウス等

(1) ① オープンハウス(入退場自由)

日時：12月11日(日) 10時00分～12時00分

14時00分～16時00分

12日(月) 18時00分～20時00分

13日(火) 18時00分～20時00分

② 意見交換会(事前登録制)

日時：12月11日(日) 15時00分～

※ ①、②の会場は、東名インフォメーションセンター(世田谷区喜多見3-1)

詳細は別紙2のとおり

(2) 現場視察会(事前申込制)

日時：12月11日(日) 全4回 各1時間程度

視察内容：東名JCT内本線発進立坑および発進立坑付近の構築済本線シールドトンネル内部(東名南行または北行トンネル)

※ 詳細は別紙3のとおり

第26回 東京外環トンネル施工等検討委員会 議事概要

■ 第26回検討委員会：令和4年12月1日

【議題】

- ・東名JCTランプシールドトンネル工事、中央JCT南側ランプシールドトンネル工事の「再発防止対策及び地域の安全・安心を高める取り組み」について

【議事概要】

- 調布市東つつじヶ丘で発生した陥没事故を受けて設置した「東京外環トンネル施工等検討委員会有識者委員会」においてとりまとめられた東京外環事業における再発防止対策を基に、東名JCTランプシールドトンネル工事、中央JCT南側ランプシールドトンネル工事について、具体的検討を行ってきた内容について報告があった。
- 東名JCTランプシールドトンネル工事、中央JCT南側ランプシールドトンネル工事の再発防止対策について、以下を確認した。
 - ・今後の掘進区間の中で、最も塑性流動性の確保が難しい断面の粒度組成を模した模擬土（タイプA）と模擬土（タイプA）の中で最も塑性流動性の確保が厳しいと想定される層が全面に現れた場合の模擬土（タイプB）を用いた長期休暇等による掘進停止を想定した添加材配合試験により、条件に適した添加材を用いることで塑性流動性を確保できること。
 - ・チャンバー内圧力は、シールド掘進中および停止中はリアルタイムに監視モニターで監視していくとともに、塑性流動性の管理は、カッタートルク、手触・目視、ミニスランプ試験および粒度分布などの確認結果も踏まえ総合的に判断すること。塑性流動性の改善が見られない場合には、掘進を一時停止し原因究明・対策検討を速やかに行うこと。その際、気泡材等の注入量の調整や添加材の変更に加え、カッターを回転することなどにより、チャンバー内の土砂分離を防止し、チャンバー内の圧力を適切に保つこと。カッタートルク、チャンバー内圧力勾配等の状況をリアルタイムで監視する設備を搭載していること。
 - ・排土量管理については、過剰な取込の兆候をより早く把握するため、前20リング平均との比較による掘削土重量との傾向管理に加え、排土率（地山掘削土量と設計地山掘削土量の比率）による、理論値と実績値を比較する絶対値管理も併せて行っていくこと。前20リング平均により傾向管理する添加材の全重量を控除した地山掘削重量（体積）・添加材の重量を控除しない排土全重量（体積）について、本検討委員会で検討された先行工事と同等に厳格化された管理値である±7.5%を1次管理値として設定したこと。チャンバー内土砂の理論単位体積重量とチャンバー内圧力勾配から推定される単位体積重量とを比較することにより添加材の浸透量を評価し、それを考慮した排土率の管理を行うこと。
 - ・シールド掘進時、添加材選定、チャンバー内圧力管理、排土量管理の各々の段階で、施工リスクやトラブルを想定した対応フローを作成するとともに、現場の異変をいち早くキャッチするため施工状況を常時多視点でモニタリングし、緊急時対応や有識者への相談を含めた体制を構築していること。特に、東名JCTランプシールドトンネル工事において、切り回しにより不要となった下水管を切削する際には、地表面変位や振動をモニタリングしながら、より慎重に掘進を行うこと。
- 東名JCTランプシールドトンネル工事、中央JCT南側ランプシールドトンネル工事の地域の安全・安心を高める取り組みについて以下を確認した。
 - ・室内実験から、掘削する地山に適した滑剤を充填することにより、振動発生の抑制効果が確認されたこと。今後は、振動・騒音の緩和のため、シールド掘進時の振動・騒音レベルを注視しながら滑剤の使用、掘進速度の調整などを総合的に判断し、振

動・騒音の抑制を図ること。振動・騒音の測定場所をこれまでの検討結果を踏まえ概ね100m間隔とし、測定結果についてホームページと現地付近の掲示板で公表するなどモニタリングを強化すること。

- ・地表面変状の確認は、交差する公道上において水準測量によりシールド通過まで1回/日、通過後1回/月の頻度で地表面変位が収束するまで計測すること。その結果は、最大地表面傾斜角と鉛直変位をホームページや現地付近の掲示板等で1回/週の頻度で地表面変位が収束するまで定期的に公表すること。また、GNSSや合成開口レーダーを活用し、掘進完了区間の地表面変位の傾向を継続把握するとともに、今後掘進する区間の掘進前地表面変位の傾向を把握すること。さらに、掘進時及び掘進後概ね1ヶ月程度は、事業者・工事関係者が毎時1回の頻度で24時間体制で掘進工事箇所周辺を徒歩等により巡回し、掘進後1ヶ月経過以降も1回/日の頻度で徒歩等により巡回を実施すること。
 - ・今後掘進する区間の公道を対象に路面下空洞調査により、掘進前後の空洞の有無を調査し、調査完了後は道路管理者等と協議を行い、必要な対応を行っていくこと。
 - ・地域住民の方への情報提供は、工事のお知らせを配布するとともに、ホームページや現場付近の掲示板を用いて、シールドマシン位置、振動・騒音計測結果、地表面変位の最新状況、振動・騒音、地表面変位の計測地点の情報を提供すること。
- 東名JCTランプシールドトンネル工事、中央JCT南側ランプシールドトンネル工事の再発防止対策及び地域の安全・安心を高める取り組みは、今後のシールドトンネル施工を安全に行う上で妥当であることから、今後、シールドトンネルの掘進の際には、これらの内容を踏まえ、施工状況や周辺環境のモニタリングを行いながら、細心の注意を払って行っていくことを確認した。
- 特に事業用地外では、トンネル直上にお住まいの方がおられることから、掘削地山の土砂性状の早期把握に、より一層取り組むなど、より慎重に掘進を行うことを確認した。
- 本委員会で取りまとめた再発防止対策及び地域の安全・安心を高める取り組みについて、沿線にお住まいの皆様にご丁寧に説明するとともに、問合せ等に適切に対応するなど、沿線にお住まいの皆様の不安を取り除くように努めることを確認した。

以 上

令和4年12月2日

外環事業 東名 JCTランプシールドトンネル工事の 「今後の掘進」などに関する オープンハウスの開催について（お知らせ）

平素より、東京外かく環状道路事業（外環事業）にご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。

令和2年10月に調布市内で発生した外環事業の工事における地表面陥没・空洞事故により、住民の皆様にご多大なご迷惑とご不安を与えてしまい、心よりお詫び申し上げます。

さて、この度、東名 JCTランプシールドトンネル工事箇所周辺にお住まいの方を対象に、パネル等を用いて個別にご説明させていただくオープンハウスを開催いたします。今回のオープンハウスでは、第26回「東京外環トンネル施工等検討委員会」（令和4年12月1日）において確認された東名 JCTランプシールドトンネル工事の「再発防止対策及び地域の安全・安心を高める取り組み」や「今後の掘進」などについてご説明させていただきます。

また、参加をご希望される住民の皆様と事業者による意見交換の場も併せて設けさせていただきます。

加えて、用地に関する個別のご相談もお伺いします。



みなさんからのご相談やご質問には、
担当者が個々に対応いたします。



個別ブースにて事業に必要な箇所に
土地をお持ちの方のご相談を承ります。

会場**東名インフォメーションセンター（世田谷区喜多見 3-1）****日時****令和4年12月11日（日）・10時00分～12時00分（入退場自由）****・14時00分～16時00分（入退場自由）****意見交換の場 15時00分～（事前登録制）****令和4年12月12日（月）・18時00分～20時00分（入退場自由）****令和4年12月13日（火）・18時00分～20時00分（入退場自由）**

※オープンハウスには、開催時間中いつでも入退場いただけます。

※会場のご案内（位置図等）は裏面に記載しております。

※会場には来場者用の駐車場を用意しておりませんので、公共交通機関にてお越しください。

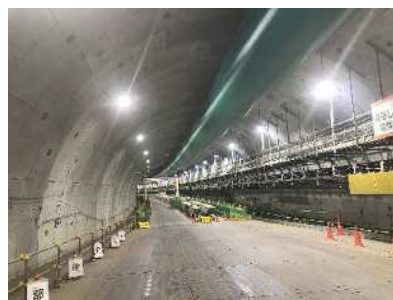
※意見交換の場は、会場の都合により席に限りがあるため、世田谷区にお住まいの方を優先とさせていただきます。（詳細は裏面に記載しております。）

対象**東名 JCTランプシールドトンネル工事箇所周辺にお住まいの方を対象****主催****東日本高速道路(株) 関東支社 東京外環工事事務所****中日本高速道路(株) 東京支社 東京工事事務所****国土交通省 関東地方整備局 東京外かく環状国道事務所**

外環事業 東名 JCT シールドトンネル工事に関する 現場視察会の開催について（お知らせ）

視察内容

東名側本線（北行・南行）シールドトンネルの発進立坑および構築済シールドトンネル内部



見学箇所イメージ写真

開催日時

令和4年12月11日（日） 全4回 各1時間程度

時間帯：【A】10:00～ 【B】10:20～ 【C】13:30～ 【D】13:50～

申込方法

Eメール又はFAXによる申し込み【事前申込制・先着制】

Eメール mail-gaikan@c-nexco.co.jp

FAX 03-3770-6281

◆申し込み期限 令和4年12月6日（火）12:00〆切（定員に達し次第終了）

◆申し込みにあたり、下記①～⑥の明記をお願いします。

①希望時間帯（上記【A】～【D】から選択） ②人数 ③氏名（参加者全員）

④メールアドレス ⑤電話番号 ⑥住所（グループでご参加の場合、④～⑥は代表者のみ記載）

※安全確保のため、定員は各回20名程度とさせていただきます。

※記入いただきました個人情報は、運営の目的以外では使用いたしません。

※より多くの方にご参加頂くため、①希望時間帯について、参加可能な時間帯が複数ある場合は、複数のご記入を頂くようお願いいたします。また、お一人様1回限りとさせていただきます。

※本チラシがポスティングされた方を優先させていただきます。

集合場所

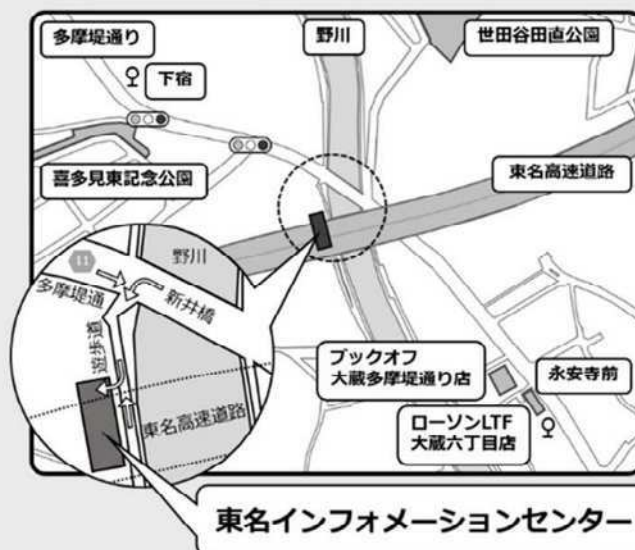
東名インフォメーションセンター前
（世田谷区喜多見3-1）

※同日開催のオープンハウスにおける受付テント内です

※会場のご案内（位置図等）は裏面に記載しております

会場のご案内（集合場所）

東名インフォメーションセンター



- 交通／東急田園都市線「二子玉川駅」からバス停「下宿」まで15分程度
小田急小田原線「成城学園前駅」からバス停「永安寺前」まで10分程度
- 住所／世田谷区喜多見3-1

〈 現場視察会に関する注意事項 〉

- 新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、以下の対策を実施しますのでご理解とご協力をお願いいたします。
 - ・現場視察には定員を設ける予定です。
 - ・マスクの着用をお願い、現場視察前の検温・手指消毒を実施させていただきます。
 - ・熱（37.5℃以上）のある方、咳等の症状のある方は現場へのご案内を取り止めさせていただきます。
 - ・「3つの密」を避けるため、現場視察時のソーシャルディスタンスの確保をお願いいたします。
- 複数の時間帯に分けて順番にご案内にしますので、円滑な進行ご理解・ご協力の程よろしく申し上げます。
- 会場には来場者用の駐車場を用意しておりませんので、公共交通機関にてお越しください。
- 現場内には施工会社の企業秘密に関するものが多くありますので、こちらでお示しする撮影可能箇所以外での写真撮影・動画撮影・録音等の記録はご遠慮願います。（許可範囲外での撮影等が確認された場合は、データの削除(第3者に共有された場合はそのデータも含む)等の対応をとって頂きます)
- 撮影可能箇所での撮影した写真や動画等について、web サイトへの投稿、動画配信などを行う場合には、他の参加者の方々に十分ご配慮頂くようお願いいたします。
- 現場には段差がありますので、お一人で歩行が困難な方（車いす、杖をご利用の方など）及び未就学児は参加いただけません。また、服装はスカートやハイヒール等を避け、動きやすい服装でお越しください。
- プライバシー保護の観点から、マスコミ関係の方々の同行取材はお断りさせていただきます。
- 上記の注意事項の他、悪天候等安全確保が困難と判断される場合は中止させていただくことがあります。

〈お問い合わせ先〉

中日本高速道路(株) 東京支社 東京工事事務所
 TEL 0120-016-285（フリーダイヤル、平日 9:00～17:30）
 E-mail : mail-gaikan@c-nexco.co.jp